

# 学術講演会のご案内

## —小松市・加賀市・能美市医師会—

- 日時：平成27年6月11日（木）19：00～
- 会場：ルートイングランティア小松エアポート2階 鏡花の間  
石川県小松市長崎町4-116-1

### PROGRAM

#### 総合司会

医療法人社団 東野病院 副院長 東野 朗先生

#### ■ 情報提供

『消化性潰瘍における治療』

武田薬品工業株式会社 柴田 千雅子

#### 座長

金沢医科大学 消化器内科学

教授 有沢 富康 先生

#### ■ 特別講演

わが国から胃癌関連死を撲滅するためのロードマップ

#### 演者

北海道大学大学院医学研究科がん予防内科学講座

特任教授 浅香 正博 先生

- \*この講演会は、石川県医師会生涯教育講習会（2単位）に該当します。
- \*この講演会は、石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度（1単位）に該当します。
- \*この講演会は、石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度（1単位）に該当します。
- \*この講演会は、石川県臨床内科医会（5単位）に該当します。
- \*この講演会は、以下のカリキュラムコードに該当します  
(11) ・ (50) ・ (51)

共催

小松市医師会  
加賀市医師会  
能美市医師会  
小松能美薬剤師会  
石川県臨床内科医会  
小松市地域医療連携室  
武田薬品工業株式会社

## 演者ご紹介

### 北海道大学大学院医学研究科 がん予防内科学講座 特任教授 浅香 正博先生



#### 学歴

昭和47年3月 北海道大学医学部卒

#### 職歴

昭和47年4月 北海道大学医学部附属病院第3内科医員

昭和53年6月 北海道大学医学部附属病院第3内科助手

昭和55年3月 医学博士の学位取得

昭和58年4月 北海道大学医学部附属病院第3内科講師

平成6年11月 北海道大学医学部内科学第三講座教授

平成11年4月 北海道大学医学部附属病院光学医療診療部部長併任

平成12年4月 北海道大学大学院医学研究科消化器内科学教授

平成12年9月 北海道大学医学部附属病院卒後臨床研修センター長

平成15年4月 北海道大学病院病院長補佐

平成17年4月 北海道大学病院副院長

平成19年4月-22年3月 北海道大学病院院長、国立大学法人北海道大学副理事

平成23年4月 北海道大学大学院医学研究科がん予防内科学講座特任教授

#### 留学

昭和56年1月-57年9月まで: 文部省在外研究員として米国テキサス州ベイヤ-大学医学部消化器科へ留学。

57年4月より: ベイヤ-大学医学部講師となる。

昭和59年1月-3月まで: サウジアラビア厚生省の招きで紅海に面したジェッダ市にある内視鏡センターへ行き、アラビア人医師を指導

#### 専門

消化器病学、臨床腫瘍学

#### 資格

日本内科学会認定指導医、日本消化器病学会認定指導医、日本消化器内視鏡学会認定指導医、日本肝臓学会認定指導医、臨床修練指導医(外国人医師指導資格一厚生大臣認定)、日本がん治療認定医機構教育医、米国消化器病学会正会員、日本学術会議連携会員、文部省学術審議会専門委員(1997年1月~1999年1月、2003年1月~2007年3月、2010年12月~2011年11月)、北海道特定疾患協議会: 潰瘍性大腸炎および重症急性膵炎審査委員長、北海道対がん協会理事、慶応大学医学部漢方医学センター外部評価委員、国立がん研究センター"がん研究開発費"外部評価委員理事、評議員

日本ヘリコバクター学会理事長兼第4回総会会長(1998年)、日本内科学会評議員兼第29回内科学の展望会長(2001年); 日本内科学会誌編集主幹(和文誌および英文誌)、全国医学部長病院長会議専門委員、日本消化器病学会理事兼第95回総会会長、日本消化器内視鏡学会評議員、日本潰瘍学会評議員兼第36回総会会長、日本胃癌学会評議員、日本がん予防学会理事兼第17回大会会長、日本神経消化器病学会理事

## 【講演要旨】

胃がん予防におけるピロリ菌除菌の有用性は証明されたが、除菌により胃がんの発生が完璧に抑制できないことも同時に明らかになった。したがって、胃がんを撲滅するためには、除菌による一次予防とサーベイランスによる二次予防をどのように組み合わせるかが最も重要になってきた。幸いにも、日本の厚生労働省はヘリコバクターピロリ感染胃炎(慢性活動性胃炎)に対して除菌の保険適応を認可し、2013年2月21日より処方可能となった。世界で初めてのことである。ピロリ菌の除菌を中心にわが国から胃がんを撲滅するためのロードマップについて考察する。